

友達とうまく遊べない

「お友達と仲良く遊んでほしいのに、おもちゃを取られて、手が出てしまう…」

「元気なのはいいけれど、行動が荒々しい。」



「家では元気なのに、外ではなかなかお友達の中に入っていけない。」



そんなお子さんの姿にイライラして、つい声を荒げてしまったり…悩むところですね。

☆まず、お子さんの遊ぶ姿をよく見てみましょう☆

これはトラブルを防ぐと同時にお子さんをよく観察し、知る機会になります。その上で本人の気持ちを確認し、どう行動すればいいか教えてあげましょう！

例①おもちゃの取り合いになってしまう

「このおもちゃを使ったかったんだよね～ ○○ちゃんに”かして”って言ってみよう!」と誘います。
乱暴せずにものを貸してもらおう場面を一緒に体験してみましょう!

例②なかなかお友達の中に入ることができない

「お友達と一緒に○○やりたい? “入れて”って言ってみようか」
遊ぶためのきっかけ作りを一緒にやってみましょう!



☆モデルを示す☆

何を言えばいいのか、どうふるまえばいいのか、モデルを示します
お子さん自身が行動できるように励まし、行動できたらほめることが大事
お子さんに“できた”という達成感を持たせてあげましょう!

ご相談のある方はお電話ください。



港北区福祉保健センター こども家庭支援課
こども家庭相談 540-2388